

## 【情報公開文書】

2024年05月23日作成

Ver.3.0

研究課題名	抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎における血清中免疫複合体の関与についての検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 リウマチ膠原病内科
研究責任者	福井 翔一（助教）
研究機関	この研究は長崎大学病院 リウマチ膠原病内科のみで実施します。
研究期間	長崎大学病院長許可日～2025年3月31日
研究目的と意義	ANCA 関連血管炎についてはこれまで全身の血管に炎症がおこる疾患であるということが分かっています。主に腎臓や皮膚、そして肺に症状を来すことが知られています。通常は外から体に入ってきた細菌やウイルスなどの異物を排除するために機能する免疫が、何らかの原因で自分の血管を異物とみなして攻撃してしまうことによって引き起こされると考えられています。治療としては、自分の免疫の機能をお薬によって抑えることで、自分の血管を攻撃しないようにする方法がとられており、ほとんど症状がない状態にまで治療することが可能となってきました。しかし、この病気の原因については、分かっていません。この研究では病気の原因となる物質を健常人のあなたと ANCA 関連血管炎の患者さんの血液とをイムノコンプレキソーム法という方法を用いて、比べて見つけ出すことを目的としています。
研究内容	<p>●対象となる患者さんおよび健常人ボランティアのみなさん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各参加施設での「抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解導入治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究」の倫理審査委員会承認後(長崎大学病院では 2011 年 7 月 6 日)より 2013 年 1 2 月 31 日の間に各参加施設および長崎大学病院リウマチ膠原病内科にて ANCA 関連血管炎と診断された方</li> <li>・健常人ボランティアのみなさんについては本研究への参加にあたり十分な説明を受けた後、十分な理解の上、本人の自由意思による文書同意が得られた方</li> <li>・対象期間中に年齢が 20 歳以上の方</li> <li>・性別は不問</li> </ul> <p>●利用する情報／試料</p> <p><u>患者登録時</u> 患者特性：年齢、性別、身長、体重、Performance Status など サイトカイン、血清中可溶性 <math>\alpha</math>-Klotho(ELISA) <u>3 ヶ月、6 ヶ月、12 ヶ月、18 ヶ月、24 ヶ月後</u> 治療経過情報など</p>

	<p>サイトカイン(6ヶ月後のみ)、血清中可溶性<math>\alpha</math>-Klotho(ELISA)(6ヶ月後のみ)</p> <p><u>再燃時</u> 再燃時情報など</p> <p><u>健常人ボランティア</u> 基本情報：年齢、性別、職業、喫煙歴、内服歴、既往歴、血清中の免疫複合体、サイトカイン、血清中可溶性<math>\alpha</math>-Klotho(ELISA)</p> <p>本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法 診療記録から診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療方法、治療経過を調査・研究いたします。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：福井 翔一（医師） 長崎大学病院 リウマチ膠原病内科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7262 FAX 095（849）7270</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>